



新年のご挨拶

埼玉県サイクリング協会 会長

衆議院議員 村井英樹 (内閣総理大臣補佐官)

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

2022年も、一昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症が国内外に大きな影響を与えた年となりました。

ウィズコロナの環境に社会全体が徐々に慣れてきてはいるものの、会員の皆様におかれましても、日常生活の中で様々なご苦勞があったかと存じます。

本協会では昨年、様々な制約が続く中、2人乗りタンデム自動車の公道解禁を受け開催された「タンデム試乗走行会」の支援を行い、多くの視覚障がい者の方に自転車を楽しんでいただくことができました。3月のタンデム試乗走行会の際は、読売新聞にも掲載され、さらに多くの方にタンデム自転車の存在を知っていただくことができたと思います。その後も、10月のアイサイトさいたま主催のイベントでも、同様に試乗会の協力を行い、自転車に乗ることの魅力をお伝えすることができました。

また、恒例のセンチュリーラン及びハーフセンチュリーランを開催し、無事、多くの皆様にサイクリングを楽しんでいただくことができました。11月に行われたクリテリウムでは、市民体験走行でサポートを行い、こちらでもサイクリングの普及に貢献することができました。

これもひとえにご尽力いただいた関係者の皆様をはじめ、会員の皆様のご支援とご協力によるものであり、改めてこの場を借りて御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症が発生し、なかなか収束できないまま3年が経ちますが、そのような中で、私たち自身が元気に暮らしていくためにも、サイクリングをすることは、健康維持・免疫力向上に非常に有効な手段です。

私も引き続き、国政の場において、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする諸課題に全力で取り組みと共に、引き続きサイクリングを通じて健康長寿で豊かな社会をつくっていけるよう、全力で県内外の皆様にサイクリングの魅力を伝えて参ります。

最後に、会員の皆様の益々のご活躍を祈念し、SCAに対する温かいご支援に改めて感謝申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

○マップリーディング終了

恒例の県民体育大会・マップリーディング大会が11月13日（日）、協会指定コースで開催されました。

今回も距離を短くしたのですが質問の意味を勘違いした人がいたので、今後はもう少し明確な表現が必要だと感じた大会でありました



＜一般の部＞ 敬称略

- 1位 土井智行
- 2位 河田広重
- 3位 清水利明

○新春サイクリング

恒例の新年走りはじめのサイクリングを実施します。

日時 令和5年1月15日（日） 雨天中止

集合 9:30 駒場運動公園駐車場

コース 卯の年なので調神社にお参りします。

運動公園→調神社→延命寺→太田窪の岨→
原山稻荷神社→運動公園



○自転車に乗れない人の自転車教室開催

さいたま市レクリエーション協会・さいたま市サイクリング連盟主催の乗れない人の自転車教室を3月5日（日）、大宮体育館及びサブグラウンドで開催します。受付は2月からですが、さいたま市（さいたま市レクリエーション協会主催）の方を優先しますが、定員に空きがあれば参加できます。

○さいたまクリテリウム

3年越しの大会が11月6日、新都心で開催されました。協会は体験走行（300人）のお手伝いを自転車競技連盟・競輪選手会と一緒にサポートを行いました。当日は天気にも恵まれ全員無事ゴールしました。お疲れさまでした。



○年度内行事案内

★タンデム試乗会 2月5日（日）県障害者交流センター ＊協会ホームページ参照

≧事務局だより≧

□令和5年度の会員受付は2月から行います。保険は諸般の事情により値上げとなります。

【編集後記】

□コロナに明け暮れた1年でした。第8波の影響もあり今年も油断できない状況で、活動にもまだ影響がありそうです。協会のある庁舎も規制がかかり使いづらい状態が続いていて、皆さんに迷惑をかけています。駐車場の規制に加え、会議室も土・日は使用不可になっているため総会会場も取れず困っています。タンデム車の公道走行解禁に伴い、障害者と一緒に自転車に乗る機会ができたことは大変喜ばしいことですがそれに伴う環境づくりが急務です。